

## 養護教諭を目指す学生の学びを促進する 「模擬保健室」の現状と課題

三森 寧子<sup>1)</sup> 岩辺 京子<sup>1)</sup>

### Present Condition and Problems of the Simulation Healthcare Room for Future School Health Teachers' Education

Yasuko MITSUMORI<sup>1)</sup> Kyoko IWANABE<sup>1)</sup>

#### [Abstract]

The students undertaking educational programs to become school health teachers have a problem as they do not really understand school organization in the field of education, owing to the fact that very limited time is allotted for practical activities in the school. To overcome this problem, we decided to create an educational environment and set simulation healthcare room for students to practice in this year. In this study, we conducted a questionnaire survey of the students in order to evaluate the effects of the simulation healthcare room. This survey was conducted with seniors in college who had completed teaching practice. Responses were received from 12 people. The evaluation was 4-points on average on a 5-point scale and the positive feedback was helpful for teacher practice. In contrast, the students pointed out that the room was very small for studying. In future, the following could potentially be considered : (1) create a space comprising all the necessary functions of a healthcare room ; (2) the layout of the healthcare room needs to encourage cleanliness and a sense of security ; (3) the method of classes ; (4) enhancement of resources on school health ; and (5) enhancement of the simulation equipment.

[Key words] Simulation healthcare room, student, school health teacher, questionnaire survey

#### [要 旨]

聖路加国際大学の養護教諭1種免許取得課程の学生は、学校現場での実習時間の確保が難しいために、学校という組織、場についての理解が乏しいという課題がある。少しでもこの課題を克服するために、教育環境を整えることを考え、今年度、模擬保健室を設置した。今回、その模擬保健室を活用した学習効果を評価するために、学生へアンケート調査を実施した。調査は学部4年生に教育実習終了後に実施し、12名から回答があった。模擬保健室への評価は5段階中平均評定が4.0と高く、教育実習に役立ったというポジティブな感想の一方で、もう少し広い部屋がよいという改善点が指摘された。今後は、限られたスペースの中で、①保健室の機能を網羅するためのスペース作り、②保健室に求められる清潔感や安心できる雰囲気考慮したレイアウト、③授業方法、④資料や教材の充実、⑤学生が主体的に学ぶことができるよう設備全体の充実について検討する必要があることが示唆された。

[キーワード] 模擬保健室、学生、養護教諭、アンケート調査

## I. はじめに

聖路加国際大学（以下、本学）で養護教諭1種免許取得課程が設置されて、9年目になる。1期生として教員免許を取得し、そのまま養護教諭になった卒業生も7年目として活躍しており、これまで13名の養護教諭を輩出している。卒業生の中でも毎年3～4名が公立や私立の教員採用試験に挑戦し、学校現場で働くことを目指しており、養成教育を担う教員としては、教育内容の工夫や充実が重要な使命と感じている。しかし、本学における養護教諭養成カリキュラムは、過密な看護学カリキュラムの傍らで、必要最小限の科目によって成り立っている。現状としては、養護教諭として卒業後すぐに即戦力として職務にあたるには、学ぶべき内容が不足しており、実践での学びを得る機会もなかなか得られないゆえに、学校という組織、場についての理解が乏しいという課題がある。そこで、少しでもこの課題を克服するために、養護教諭という仕事についてイメージしやすくすることをねらいとして教育内容の工夫と教育環境を整えることを考えている。その第一歩として、2016年度、模擬保健室を作り、実際に授業や演習を展開することができたことについて報告する。

## II. 模擬保健室の設置意義

### 1. 学校における保健室設置の法的根拠

保健室は、学校教育法施行規則第1条に「学校には、その学校の目的を実現するために必要な校地、校舎、校具、運動場、図書館又は図書室、保健室その他の設備を設けなければならない」ならびに学校保健安全法第7条に「学校には、健康診断、健康相談、保健指導、救急処置その他の保健に関する措置を行うため保健室を設けるものとする」と定められており、学校には必ず設置されるべき施設である。さらに、文部科学省による学校施設整備指針には、さまざまな規定があり、保健室に関して細かな指針が明記されている。

### 2. 保健室の機能と養護教諭の職務について

保健室の機能は、中央教育審議会答申<sup>1)</sup>において、「子どもの健康づくりを効果的に推進するためには、学校保健活動のセンター的役割を果たしている保健室の経営の充実を図ることが求められている」と述べられており、「健康診断」「健康相談」「保健指導」「救急処置」「発育測定」「保健情報センター」「保健組織活動のセンター」などが求められている。一方、養護教諭は保健室を活動の拠点とし、「保健管理」「保健教育」「健康相談」「保健室経営」「保健組織活動」を行うことが前出の答申<sup>1)</sup>に明示されている。健康課題が多様化かつ複雑化している現代

の子どもたちや保護者、教職員にとっても、子どものことだけでなく自身の心身の健康に関する相談の場としての期待も高く、まさに学校には「なくてはならない場」となっている。

### 3. 保健室に必要なスペース及び備品について

上記の機能を踏まえ、保健室には児童生徒の動線を考えた空間配置や児童生徒が安心かつスムーズに利用できる配置（救急処置、休養スペース）、プライバシーを考慮した配置（検査・測定、相談スペース）、からだについて学習できる配置（学習、健康情報発信、組織活動スペース）、児童生徒の動きが見え、情報の保護が図れる配置（資料保管、管理、執務スペース）などを考慮する必要がある<sup>2)</sup>。加えて、それらのスペースを充実させる備品や教材も重要となる。

### 4. 文部科学省による教員養成についての方針

文部科学省は教職課程の改善・充実に向けた主体的な取り組みとして、2015年より「学校インターンシップ」を進めている<sup>3)</sup>。これは、学校現場をより深く知ることができ、既存の教育実習と相まって、理論と実践の往還による実践的指導力の基礎の育成に有効であり、早い時期から仕事の実態を把握し、自分の適性を判断できるようにというねらいがある。つまり、現場を意識した教員養成教育に重点を置いていると考えられる。

本学の学生にとっては、必修である看護学の科目を履修しながら教職科目を履修していくハードさもあり、学内で現場を意識した教育を展開していくことが求められるといえる。

## III. 模擬保健室の実際

模擬保健室の場所は、看護学部本館5階の504演習室である。今年度の前期は1週間において以下のように部屋を活用した。月曜日は卒業研究に関する面談や卒業生の就職および教員採用試験対策についての相談、火曜日は養護概説の授業（3年生）、水曜日は学校救急活動論（4年生）、木曜日は教育課程論における教材・教具の作成、金曜日には卒業研究に関する面談や卒業生の就職および教員採用試験対策についての相談というように、使わない日はほとんどなく、合間に学生が自主的に学習している姿も見られた。

3年生の「養護概説」では、健康診断や環境衛生検査の実施、児童生徒との対応場面のロールプレイを行った。4年生の「学校救急活動論」では、けがや具合が悪い児童生徒役と養護教諭役、担任役、校長役などさまざまな役割になりきってロールプレイを行った。また在学中の学生だけではなく、現職養護教諭である卒業生が救急処

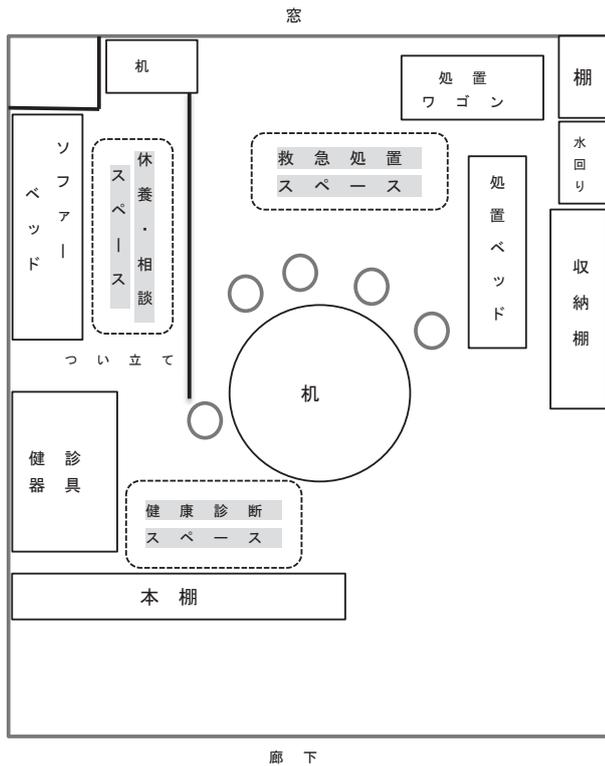


図1 模擬保健室のレイアウトと実際の様子

置や保健教育に関する研鑽を積む場とするニーズも多かった。

部屋は図1のようなレイアウトとなっている。前述したように、保健室にはさまざまな機能を求められているために、多様な用途に対応すべく物品やスペースが必要である。しかし、35.13平方メートルという面積の狭さゆえに、健康診断スペース、休養スペース、救急処置スペース、つい立てを活用した相談スペースのみの設置となった(写真1)。

#### IV. 学生の反応

##### 1. 調査目的

模擬保健室設置の評価や今後の改善を目的として、実際に模擬保健室を使用して授業を受けた学生の反応を調査することとした。

##### 2. 調査方法

今年度、養護教諭1種免許取得課程に在籍している4年生19名に対して、教育実習終了後の実習報告会にて本調査の趣旨と自由意思にもとづくこと、成績等評価への影響はないことを説明した上で無記名自記式のアンケートを行った。アンケートの提出をもって同意とした。

##### 3. 調査内容

質問項目は、模擬保健室の評価、今後の改善点、使用

した感想について自由記載を求めた。模擬保健室の評価については、“よくなかった”を1とし、“とてもよかった”を5として5段階評定にし、その段階を選択した理由について自由記載を求めた。

#### 4. 結果

調査対象19名のうち12名から回答が得られた(回収率63.2%) (表1)。

##### 1) 評価

5段階評定の平均は4.0であった。その理由は、「イメージしやすかった」「必要な物品が揃っていて勉強になった」「生徒との距離感をつかめ、実習に活かされた」「実際に保健室で処置している気分になれた」「臨場感を持って授業や演習に取り組むことができた」というポジティブな記載の一方で、「狭かったので教室でもよかった」という理由も書かれていた。

##### 2) 改善点

一番多かった意見は、「もう少し広い空間がよい」が5件であり、次いで「メモを取りやすい工夫をしてほしい」2件、「アイシングや温罨法、ベッドなど実際に使用する物品があるとよい」3件、「健康教育の媒体の展示や子どもたちが安心する雰囲気作り」3件と、環境面や授業方法に関する内容であった。

##### 3) 感想

「教育実習に行った際に大いに役立った」という感想など模擬保健室の意義を感じるとともに、健康診断や救急

表1 模擬保健室についてのアンケート結果

評価とその理由	<p>評定5：2名，評定4：9名，評定2：1名 平均 4.0</p> <p>【臨場感のある環境でイメージしやすく実習に活かされた】11件</p> <p>「イメージしやすかった」</p> <p>「必要な物品が揃っていて勉強になった」</p> <p>「生徒との距離感がつかめ，実習に活かされた」</p> <p>「実際に保健室で処置している気分になれた」</p> <p>「臨場感を持って授業や演習に取り組むことができた」</p> <p>【教室でもよかった】1件</p> <p>「狭かったのに教室でもよかった」</p>
改善してほしいこと	<p>【環境について】12件</p> <p>「もう少し広い空間がよい」</p> <p>「アイシングや温電法，ベッドなど実際に使用する物品があるとよい」</p> <p>「健康教育の媒体の展示や子どもたちが安心する雰囲気作り」</p> <p>【授業方法について】2件</p> <p>「メモを取りやすい工夫をしてほしい」</p> <p>「具体的な救急処置の演習をしたい」</p>
感想	<p>【学習効果があった】5件</p> <p>「実際の保健室と同様の物品があり，教育実習に行った際に大いに役立った」</p> <p>「実際の場を想定してロールプレイができたことがよかった」</p> <p>【今後の展望】3件</p> <p>「健康診断の練習など職務を学べる場となればよい」</p> <p>「実習前に救急処置の練習を行えるとよい」</p>

処置の練習などで積極的に活用することを提案していた。

## 5. 考察

学生による模擬保健室に対する評価は概ね良好であったといえる。特に教育実習に行った際に迷わず物品に触れることができたり，児童生徒の話を聴くことができたりスムーズに保健室で対応ができたことは，模擬保健室による学習効果が認められ，学生にとって自信にもつながったと考える。

しかしその一方で，保健室ならばもっと広いほうがよいということが改善点として多く挙げられていたのは著者らにとっても悩ましい点である。そもそも保健室の広さは，学校施設整備評指針において小中学校校舎補助基準の算定基礎が示されている<sup>4)</sup>。平成9～12年度の改訂により，学級数に関わらず74平方メートルつまり，「1教室分またはそれ以上の広さ」が基準となっている<sup>2)</sup>。本来あるべき機能を備えた保健室とは言い難く，どのような物品をどのように配置するか，そして，模擬保健室の運用方法についてさらなる検討が必要であることが明らかとなった。

## V. 今後の模擬保健室の課題

今年度，模擬保健室を運用してみて，著者らが予想していた以上に活用頻度が高く，ニーズや意義があることがわかった。本学の養護教諭1種免許取得課程の定員は20名である。その20名が多忙な学生生活の中で，教員免許取得という目標を達成するために，いかに実践的で意味のある学びをしていくかを考えるのは，著者ら養成す

る教員の役割であり，どのような養護教諭を養成したいか，というビジョンのもとさらなる検討，改善が必要と考えられる。

養護教諭養成教育を行っている他大学の実習室の状況をホームページ上で調べてみると，「学校保健で使用する機器，備品を揃えている。また一角に学校の保健室を想定したコーナーがあり，養護教諭の日常業務をシミュレーションできる」<sup>5)</sup>「ベッド，車椅子，AED（自動体外式除細動器）など現場で使われている設備や機器が揃い，養護の技術をしっかり身につけることができます」<sup>6)</sup>「養護実習室では，学校の保健室と同じように，ベッドやソファ，身体測定，健康診断の器具，救急用品，指導用教材などの備品や設備が整えられており，養護教諭の行う救急処置，健康診断，相談活動などの実習を行っています」<sup>7)</sup>といった説明文と共に部屋の写真が掲載されており，学校施設を想定した広さを確保し，備品の整備を行い，整った環境の中で日常業務のシミュレーションに重点を置いた養成教育を行っている。本学においてもホームページに掲載できるような「模擬保健室」を目指す必要性があるだろう。

また，学校における保健室は，法的根拠にも示されている通りなくてはならない場であり，養護教諭の活動の拠点である。その保健室そのものを十分に理解し，その機能を活かして養護教諭としての専門性を追求していくことが専門職として求められると考える。そういった意味で，模擬保健室とは，看護教育における看護技術を学ぶ実習室同様の位置づけであると考えられ，シミュレーション教育の一環としてさらなる検討，改善が必要である。具体的には，学生のアンケート結果も踏まえ，限ら

れた空間において、①保健室の機能を網羅するためのスペース作り、特にからだについて学習できる配置について、②保健室に求められる清潔感や安心できる雰囲気を考慮したレイアウトについて、③授業方法について、④資料や教材の充実について、⑤学生が主体的に学ぶことができるように内部の構造や施設・設備・備品の充実について検討する必要があることが示唆された。今後一層教育環境を整備し、養護教諭養成教育そのものの充実と発展をはかることで、本学の学生が養護教諭への理解を深め、実践へのスムーズな移行にもつなげることがきることを願って取り組みたいと考えている。

#### 引用文献

- 1) 中央教育審議会 (2008). 子どもの心身の健康を守り、安全・安心を確保するために学校全体としての取組を進めるための方策について. [2016-10-27].  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/\\_icsFiles/afieldfile/2009/01/14/001\\_4.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/_icsFiles/afieldfile/2009/01/14/001_4.pdf).
- 2) 石川県養護教育研究会編. 新版・養護教諭執務のてびき. 第8版第5刷. 京都: 東山書房; 2013. p.67-81.
- 3) 文部科学省 (2015). 大学等におけるインターンシップの推進. [2016-10-27].  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/sangaku2/1346604.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/sangaku2/1346604.htm).
- 4) 文部科学省 (2014). 学校施設整備指針. [2016-10-27].  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shisetu/013/toushin/1350224.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shisetu/013/toushin/1350224.htm).
- 5) 名古屋学芸大学 HP. [2016-10-27].  
<http://www.nuas.ac.jp/profile/campuslife/facility/educational.html>.
- 6) 岐阜聖徳短期大学 HP. [2016-10-27].  
<http://www.shotoku.ac.jp/tanki/nurse/>.
- 7) 園田学園女子大学 HP. [2016-10-27].  
<http://www.sonoda-u.ac.jp/souken/department.html>.